

# 京浜歴科研年報

京浜歴史科学研究会

## 目 次

巻 頭 言	内田修道	(1)
〈論 文〉		
加藤弘之の立憲政体提議	奥田晴樹	(2)
『川崎警察署文書』にみる第一回衆議院議員総選挙	伊東富昭	(23)
神奈川県における農会運動の展開(二) —— 日露戦後地方経営の前提・運動の担い手の養成と組織化 ——	内田修道	(35)
近代期川崎における公害問題 —— 地域住民の集合行動に注目して ——	香川雄一	(46)
〈研究ノート〉		
日清・日露戦後期研究の成果と課題 —— 明治・大正期の町村をめぐって ——	松田隆行	(57)
近代女子教育史研究と『女学校発起之趣意書』 —— 小山静子著『良妻賢母という規範』によせて ——	奥田和美	(67)
〈随 想〉		
教育について考えていること	青山永久	(73)
〈史料紹介〉		
私立「時習学館」学籍名簿について	大湖賢一	(75)
〈書 評〉		
新城俊昭著『高等学校 琉球・沖縄史』 —— 沖縄の歴史「教科書」 ——	阪本宏児	(79)
編 集 後 記		